

平成 20 年度 第 2 回 陸域環境研究会「瀬戸内海流域の物質循環」 (39 回)

日時：7 月 5 日(土)14:00 - 7 月 6 日(日)16:00

場所：アザレア千代田 広島県山県郡北広島町壬生 TEL(0826)72-7500

7 月 5 日：14 時 - 19 時

第一部「科研『不均一流域/非定常流出』P の成果と課題」

- 14:00-14:10 はじめに - 目的、経過 - 福岡正人、小野寺真一（広島大学）
- 14:10-14:25 斜面スケールの生態系評価-菌根をキーに- 堀越孝雄（広島経済大）
- 14:25-14:40 流域スケールの風化特性評価 於保幸正（広島大学）
- 14:40-14:55 流域スケールの溶出特性評価 平山恭之（広島大学）
- 14:55-15:10 GIS による流域の不均一性評価と水質特性との関連 小寺浩二（法政大学）
- 15:10-15:20 流域におけるリン-粘土の流出相互作用 北川隆二（広島大学）
- 15:20-15:30 流域スケールでのマテリアルフロー 福岡正人（広島大学）
- 15:30-15:45 流域物質輸送の評価のための GIS モデル解析 高橋英博（近畿中国四国農研セ）
- 15:45-16:00 流域物質流出における不均一/非定常流出と海洋環境 小野寺真一（広島大学）

休憩 10 分

第二部「流域研究プロジェクト - 成果、課題、展望 - ①」（招待講演）

- 16:10-16:35 森林源流域の水質形成研究 加藤正樹（森林総合研究所、研究コーディネーター）
- 16:35-17:00 農地の窒素溶脱研究 前田守弘（岡山大学、もと中央農業総合研究センター）

休憩 10 分

第三部「成果トピックス」ポスター発表 17:10-18:45 （途中入浴）

- 衛星データによる流域リアメントの分布とその流域への影響：清水裕太（広島大学・院）
- 流域 GIS 物質負荷解析 - 太田川、芦田川 - ：肖 航（広島大学・院）
- 流域 GIS 物質負荷解析と水質 - 佐波川 - ：加藤愛彬（法政大・学）
- 流域スケールでの硝酸性窒素の脱窒：斎藤光代（愛媛大学） （地惑 P）
- 広域水質分布特性 - 硫黄同位体解析 - ：柴崎弘美（JR 西日本） （AOGS P）
- 流域の地下水-河川交流と栄養塩流出：澤野美沙（応用地質） （AOGS P）
- 高屋川流域の流下にともなう物質変動：清水裕太（広島大学・院） （AOGS P）
- 備讃瀬戸流域における窒素動態研究：吉川省子（近畿中国四国農研セ） （AOGS P）
- 芦田川の洪水流出にともなう物質負荷：澤野美沙（応用地質）
- 地下水中の N₂、Ar 分析：清水裕太（広島大学・院）
- 河口干潟の水循環：篠崎俊典・森山雄介（岡山理科大学・院）

懇親会 19：00-21：00

7 月 6 日：8 時 - 16 時

朝食：7:30-8:30 ポスター発表

第四部「流域研究プロジェクト - 成果、課題、展望 - ②」

8:30-8:50 沿岸栄養塩プロジェクト 小野寺真一（広島大学）

8:50-9:10 愛媛大学 CEMES 瀬戸内海プロジェクト 齋藤光代（愛媛大学）（招待）

9:10-9:35 岡山 - 鳥取断面における水質形成 北岡豪一（岡山理科大学）（招待）

休憩 10 分

第五部「総合討論」

9:45-10:15 まとめと今後の課題

第六部 現地検討会

10:30 宿出発 千代田 IC 前のセブンイレブン（昼食買い物） 11:00 出発

土師ダム（江の川）；シリカ、リン制限を作り出すのか？

江の川-太田川分水界；風化特性、地形特性

太田川中流域；降雨採水、硫黄同位体特性、名水

太田川下流域；高瀬堰、デルタ、干潟、物質負荷特性

16:00 広島駅 解散

連絡先

研究会事務局 082-424-6496